

お知らせ

▶不妊治療費を一部助成

平成26年10月1日診療分から、男性不妊治療、不育治療も助成対象になりました。

対象 市内在住で、かつ京都府内に1年以上住所を有する夫婦（婚姻未届けで事実婚関係にある男女を含む。ただし、人工授精および男性不妊治療にかかる医療費の助成を申請する場合は戸籍上の夫婦に限る）対象となる治療および助成金額

(1)不妊治療

(ア) 保険適用分：自己負担額2分の1（1年度あたり限度額6万円）

(イ) 人工授精：自己負担額2分の1（1年度あたり限度額10万円）

(2) 保険適用外の男性不妊治療

精巣内精子採取術：自己負担額2分の1（1年度あたり限度額20万円）

(3) 保険適用される不育治療

原因検査、ヘパリン療法等：自己負担額2分の1（1回の妊娠につき限度額10万円）

※(1)の(ア)、(イ)両方を受けた場合、限度額は(イ)と同額。

申請に必要な書類

①不妊治療等助成金交付申請書②各種医療機関等証明書③不妊治療等助成金交付請求書

申請 診療日の翌日から起算して1年以内に上記①～③を健康推進課へ郵送または持参。1年以上経過すると対象外となります。ご注意ください。

※申請書は健康推進課窓口や市ホームページから入手できます。

※なお、体外受精および顕微授精については、京都府の特定不妊治療助成が受けられる場合があります。詳しくは山城北保健所（☎0774-21-2192）にお問い合わせください。

▶京都府の救急医療情報

緊急の場合は、電話による休日・夜間診療の病院（医院）の紹介を消防本部（☎981-4119）で行っていますのでお問い合わせください。

○京都健康医療よろずネット（京都府救急医療情報システム）

現在、診療が受けられる初期救急医療機関の情報を提供しています。

☎・FAX（自動応答）694-5499

URL <http://www.mfis.pref.kyoto.jp>

▶高齢者肺炎球菌ワクチン 任意接種費用の一部助成

高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用の一部を助成しています。このワクチンは予防接種法に基づかない任意の接種です。1回の接種で5年以上免疫が持続するとされています。

対象 接種日当日に65歳以上の市民（健康保険を適用して接種する人は除く）

助成額 4,000円（助成は1人1回）

【予防接種の受け方】

①市内の協力医療機関で接種の場合 予約の有無を確認後、健康保険証など、住所、氏名、生年月日が確認できるものを持参してください。

接種費用は各医療機関で異なります。助成を超えた額は、直接医療機関にお支払いください。

②市内の協力医療機関以外で接種の場合

全額を医療機関に支払い、後日、助成の申請をしてください（申請書は健康推進課窓口や市ホームページから入手できます）。医療機関発行の領収書（接種者の氏名、接種年月日、接種費用、予防接種名、領収印のあるもの）、接種済証、印かん、預金通帳など振込先の分かるものを持参し、4月10日（金）までに健康推進課へ。

高齢者肺炎球菌定期接種

65歳以上の定期予防接種対象者には個人通知を平成26年9月に郵送し

八幡市指定医療機関

医療機関名	住所	電話番号	高齢者肺炎球菌ワクチン(予約)
あさか内科医院	男山泉	468-3712	要
いばら木整形外科医院	八幡三本橋	983-5656	不要
入江医院	男山長沢	983-1718	要
男山病院	男山泉	983-0001	要
大塚産婦人科医院	男山長沢	982-1866	要
大森医院	橋本栗ヶ谷	971-0033	不要
小川医院	男山泉	963-5790	要
長村内科医院	内里内	981-1023	要
京都八幡病院	川口別所	971-2001	要
工藤内科クリニック	橋本東原	982-0151	要
小糸医院	男山金振	983-5110	要
里井医院	西山和気	983-2277	要
下野医院	八幡平谷	981-0030	要
立本内科小児科医院	橋本小金川	981-8818	不要
となみクリニック	八幡樋ノ口	633-5565	要
中村診療所	八幡山柴	981-0510	要
いのゆ耳鼻咽喉科医院	八幡三本橋	981-8878	要
みぎはし医院	男山竹園	981-0282	要
道澤内科医院	男山美桜	983-2315	要
みよし内科・消化器科	八幡柿ヶ谷	981-6860	要
やすだこどもクリニック	欽明台西	971-1102	要
山下医院	橋本向山	982-2310	不要
八幡中央病院	八幡五反田	983-0119	要
渡部医院	男山八望	982-2525	要
みのやま病院	欽明台北	983-1201	要

ています。60歳以上65歳未満（接種日当日）で、身体障がい1級と認定されている心臓・腎臓・呼吸器機能障がいのある人、およびヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障がい

がある人は身体障害者手帳を持って直接、八幡市指定医療機関へ。※市民税非課税世帯・生活保護世帯の人および市外の医療機関で接種される人は接種前に健康推進課へ申込みが必要です。

▶減塩みそ手づくり教室

家族の健康を守るため、減塩で無添加のみそを一緒につくってみませんか。

日時 ①3月3日（火）、②3月17日（火）※各日とも、午前10時～、午後1時～。

場所 八幡人権・交流センター

参加費 1口3,000円（麴2kg、大豆1kg、塩400g）

定員 各日40口（午前25口、午後15口。先着順）

持ち物 エプロン、手ふき、みそを入れる容器など

申込み ①2月20日（金）まで、②3月6日（金）までに健康推進課へ

▶グリーフケア講演会

「大切な人をなくすということ ～悲しみをささえる グリーフケア～」

親しい人を亡くした人や自分自身の深い悲しみ(悲嘆)への向き合い方など、グリーフ(悲嘆)ケアの基本を学び、一緒に考えます。※申込不要。

日時 3月7日（土）午後1時30分～3時

場所 生涯学習センター

講師 坂下 裕子さん（こども遺族の会「小さないのち」代表）

参加費 無料

問合せ NPO法人介護の家コスモス男山（☎983-2737）

休日応急診療所

☎983-3001

診療日 日曜日・祝日・年末年始
場所 八幡園内73-3（市役所北側）
診療科目 内科・小児科・歯科
受付時間 午前11時30分～午後5時30分
診療時間 午前～

小児救急医療

次の医療機関では、休日・夜間に小児専門医が当直し、小児救急患者を診察します。

- 男山病院（☎983-0001）
毎週金曜日（祝日は除く）
- 宇治徳洲会病院（☎0774-20-1111）
24時間365日
- 田辺中央病院（☎0774-63-1111）
24時間365日

小児救急医療電話相談

☎#8000 または ☎661-5596

小児科担当看護師や小児科医師が、休日、夜間の電話相談に応じます。
相談時間 午後7時～翌日午前8時
※土曜日は午後3時～翌日午前8時

知って得する!! 今日から役立つ!!

健康豆知識

ウイルス性胃腸炎の予防

「ウイルス性胃腸炎」の原因となるウイルスは20種類以上ありますが、その多くは毎年11月頃から翌年5月にかけて流行するノロウイルスとロタウイルスによるものです。症状は、発熱、おう吐、下痢、腹痛等を主症状とし、脱水症や脳炎などの合併症を引き起こす場合があります。

特に多いロタウイルスによる胃腸炎は、5歳までにほとんどの子どもが感染するといわれます。年長児以降は感染しても症状が出ない不顕性感染が多くなりますが、生涯にわたって感染を繰り返すことが特徴です。特に生後6カ月～2歳の子どもや高齢者は、重症化に注意が必要です。

ロタウイルスの感染経路のほとんどが経口感染で、その感染力は強く、ごくわずかなウイルス量でも感染するといわれています。

感染予防、感染拡大防止の対策

- こまめな手洗い（ウイルスを洗い流す）。
- 汚物（吐しゃ物やオムツ等）は速やかにビニール袋に入れて密閉、廃棄する。
- 汚染した衣類等の次亜塩素酸（※）による消毒。
（※塩素系の漂白剤。使用にあたっては「使用上の注意」を確認しましょう。）

* 問合せ 健康推進課

こころの体温計でメンタルチェックしませんか

市では、自殺防止対策の一環として、携帯電話やPCを使って簡単にメンタルヘルスチェックができるシステム「こころの体温計」Fish Bowl Index（フィッシュボールインデックス）のサービスを導入しています。

このシステムは、こころの健康状態やストレスの状態を測るツールです。「本人モード」「家族モード」「赤ちゃんママモード」などのメニ

ューがあり、健康状態や人間関係、住環境などの質問に答えると、水槽の中で泳ぐ赤・黒の金魚や猫などのキャラクターが、ストレス度や落ち込み度を表示します。ストレスチェックの結果に基づき相談窓口の連絡先も表示されます。

◆利用方法

パソコンからは「こころの体温計」と検索し、ご利用ください。携帯電話などからは、QRコードからアクセスできます。利用料は無料（通信料は自己負担）で、個人情報の入力も一切不要です。

「少し疲れたな」と感じたら、このシステムで心の体温を測ってみませんか。



保健医療

市役所への問い合わせは
☎983-1111 (代)へ

保健

- ◆保健コーナーに関する問い合わせは、健康推進課へ（個別に問い合わせがあるものを除く）。
- ◎乳幼児健診や予防接種を受ける前に、あらかじめ質問票や予診票を記入してから会場までお越しください。
- ◎予防接種を受ける前に、冊子「予防接種と子どもの健康」をよくお読みください。
- ◎母子健康手帳を忘れずに持参ください。

2月の各種健康相談

- ▼窓口リハビリ相談（要予約）
17日（火）母子健康センター
40歳以上が対象。作業療法士が運動や福祉用具などの相談に応じます。
 - ▼窓口健康相談（要予約）
17日（火）母子健康センター
40歳以上が対象。保健師が健康に関する相談に応じます。
 - ▼高齢者健康相談
19日（木）南ヶ丘老人の家
24日（火）都老人の家・有都福祉交流センター
26日（木）八寿園
65歳以上が対象。血圧測定と検尿の後、保健師が健康相談に応じます。
- ※時間は午前9時30分～11時。都老人の家・有都福祉交流センターは午後1時30分～2時30分。
※窓口リハビリ相談・窓口健康相談は事前に健康推進課へ予約を。

マタニティスクール

- これからお父さん、お母さんになる人が対象。申し込みは電話で健康推進課へ（いずれも先着20組）
- パート1「デンタルケア&絵本」
▶2月5日（木）午後1時30分～4時、母子健康センター2階
 - パート2「体重管理のコツと簡単レシピ（試食）&先輩ママとの交流会」
▶2月13日（金）午後1時30分～4時、文化センター3階第6講習室
 - パート3「出産の準備と育児」
▶2月20日（金）午後1時30分～4時、母子健康センター2階
※次回は4月です。

離乳食教室

日時 2月13日（金）午後1時30分～4時
場所 文化センター3階第4、6講習室
定員 おおむね先着15組
持ち物 エプロン、手拭き、筆記用具、おむつ、ミルク、母子健康手帳
申込み 2月9日（月）までに電話で健康推進課へ（当日欠席のときは必ず連絡してください）



2月の乳幼児健康診査・育児健康相談のご案内

事業名	会場	日程	受付時間	対象	3月の日程
4カ月児健康診査	母子健康センター	16日（月）	午後1時～2時	平成26年10月1日～10月20日生	9日（月） 25日（水）
10カ月児育児健康相談 ※①	美濃山コミュニティセンター	2日（月）	午前9時30分～10時30分	平成26年3月生 ※上記以外の乳幼児も希望があれば、当日母子健康手帳を持って直接会場へお越しください。計測・相談に応じます（予約不要）。	2日（月）
	橋本公民館	3日（火）			3日（火）
	子育て支援センター（男山指月）	4日（水）			4日（水）
	男山公民館	5日（木）			5日（木）
	母子健康センター	6日（金）			11日（水）
	有都福祉交流センター	10日（火）			13日（金）
1歳6カ月児健康診査	母子健康センター	9日（月）	午後1時～2時	平成25年7月20日～8月6日生 平成25年8月7日～8月20日生	20日（金）
		23日（月）			
3歳児健康診査	母子健康センター	17日（火）	午後1時～2時	平成23年8月生	17日（火）
		18日（水）			18日（水）

- ※各健診の対象者には通知しています。
- ※①男山公民館・子育て支援センターには駐車場がありません。
- 【持ち物】母子健康手帳、質問用紙
- 【健診内容】身体計測、内科診察（健診のみ）、育児相談、発達確認をします。
- ◎4カ月児健康診査は離乳食の話があります。
- ◎1歳6カ月児健康診査では手作りおやつを試食があります。（協力：市食生活改善推進員協議会）
- ◎1歳6カ月児健康診査、3歳児健康診査は栄養相談、歯科健診（ブラッシング指導）があります。歯ブラシをお持ちください。
- ◎3歳児健康診査は視力検査と尿検査があります。尿検査は、健診当日の朝の尿を容器にとってお持ちください。

けんこう大使 やわたん



定期予防接種のお知らせ

持ち物：母子健康手帳、予診票
（必ず持参。持っていない人は健康推進課まで連絡ください）

【集団接種】

種別	日時・場所	対象年齢・接種方法	次回の日程
BCG	2月13日（金）午後1時20分～2時20分 ＜母子健康センター＞	生後1歳に至るまでで1回 （標準的な接種期間：生後5カ月～8カ月に達するまで）	3月10日（火）

【個別接種（通年）】

平成26年10月1日から水痘ワクチンが定期予防接種となりました。対象者には予診票を個人通知しています。

予防接種名	対象年齢・標準的な接種方法等	今月の通知対象者（通知時期）
ヒブ	生後2カ月～5歳に至るまで 初回接種月齢により接種回数異なります。	平成26年12月生 （生後1カ月の翌月初め）
小児用肺炎球菌		
三種混合 不活化ポリオ （IPV）※①	1期（初回） 生後3カ月～7歳6カ月に至るまでに20日～56日の間隔で3回	
	1期（追加） 7歳6カ月に至るまでに1期初回接種（3回）終了後、1年～1年6カ月の間に1回	
四種混合 （ジフテリア・破傷風・百日せき・不活化ポリオ）	1期（初回） 生後3カ月～7歳6カ月に至るまでに20日～56日（3～8週間）までの間隔で3回	平成26年12月生 （生後1カ月の翌月初め）
	1期（追加） 7歳6カ月に至るまでに1期初回接種（3回）終了後、1年～1年6カ月の間に1回	平成26年2月生 （満1歳の誕生月の翌月初め）
二種混合 （ジフテリア・破傷風）	2期 11歳以上13歳未満までに1回	平成16年1月生 （満11歳の誕生月の翌月初め）
麻しん風しん混合 （MR）	1期 満1歳～2歳に至るまでに1回	平成26年2月生 （満1歳の誕生月の翌月初め）
	2期 幼稚園、保育所等の年長児に1回 【接種期間】平成27年3月31日まで	対象者には平成26年4月初めに郵送済 対象▶平成20年4月2日～21年4月1日生
水痘ワクチン	満1歳以上3歳未満で2回接種	平成26年2月生
	経過措置（平成26年度のみ）経過措置 3歳以上5歳未満で1回接種	対象者には平成26年9月中旬に郵送済
日本脳炎 ※②（特例対象者：平成7年4月2日～平成19年4月1日生）	1期（初回） 3歳～7歳6カ月に至るまでに6日～28日の間隔で2回	平成24年1月生 （満3歳の誕生月の翌月初め）
	1期（追加） 7歳6カ月に至るまでに1期初回（2回）接種終了約1年後に1回	平成23年1月生 （満4歳の誕生月の翌月初め）
	2期 9歳～13歳未満までに1回、1期（基礎免疫）終了約5年後に接種	要申込
子宮頸がん予防ワクチン	小学6年生～高校1年生で3回 （標準的接種年齢：中学1年～高校1年生）	
	※積極的に勧められていません。接種に当たっては有効性と副作用が起こるリスクを十分に理解した上で受けるようにしてください。	

- ※①三種混合ワクチンの製造は終了しました。三種混合ワクチンの接種を希望される人は、健康推進課へ連絡ください。四種混合を接種する場合は、三種混合と不活化ポリオを接種する必要はありません。
- ※②特例対象者に当てはまる人で、1期・2期の接種が受けられなかった人は、20歳未満の間（7歳6カ月～9歳含む）に接種可能。
- ※市外での接種を希望する人は、事前に健康推進課へ連絡ください。
- 【注意事項】
◆医療機関には保険証など住所が確認できるものも持参してください。接種間隔を守って受けましょう。各予防接種の該当年齢以外は任意の予防接種になります。感染症などにかかった場合は主治医に相談を。
◆予診票をお持ちでない人は母子手帳など接種履歴のわかるものを持参し、健康推進課まで申し込みください。